

吉野川市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略

【アクションプラン編】

(2020 改訂版)



令和2年10月
吉野川市



【基本目標1】 吉野川市にしごとをつくり、安心して働けるようにする

【目標】総合戦略による雇用創出数【5年間累計】 50人以上（－）		H27	H28	H29	H30	R1	5年間累計値
	計 画	4人	6人	5人	13人	22人	50人以上
	実 績	3人	4人	8人	14人	11人	40人

※ 上段に基本目標の指標を表記し、下段には計画期間5年間における数値目標、及び、括弧内に数値目標の基準となる値を表記している。（以下、同様とする。）

（ア）魅力ある新しいしごとの創出

① しごとづくりの支援

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	5年間累計値
■ 新規創業件数【5年間累計】：5件以上（－）	計 画	1件	1件	1件	1件	1件	5件以上
	実 績	1件	1件	2件	1件	2件	7件
新規創業者等に対し、支援機関や金融機関と連携し、創業支援を実施する。 また、創業相談を受けるにあたっての「ワンストップ相談窓口」を設置し、ビジネスモデルの構築・資金調達等、創業に向けたステージ毎に関係機関の強みを活かせる支援体制を構築する。 一方、中心市街地において、空き店舗の実態調査を実施し、データベース化を図り、新規出店者支援に活用する。		推進				→	

※ ■は、計画期間5年間における数値目標で、後ろの括弧内の数値が数値目標の基準となる値である。（以下、同様とする。）

② 企業立地支援等の推進

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	5年間累計値
■ 企業等立地数【5年間累計】：3件以上（－）	計 画	0件	0件	0件	1件	2件	3件以上
	実 績	1件	0件	0件	1件	0件	2件
企業が本市へ事務所の新設、増設又は移設することを後押しする応援プログラム（企業立地促進奨励金や雇用奨励金の交付、固定資産税の減免等）を推進し、企業立地等を図る。		推進				→	

（イ）農林業の育成強化

① 新規就労者への支援の強化

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	5年間累計値
■ 新規就農者数【5年間累計】：18人以上（8人（H22～H26））	計 画	3人	3人	3人	4人	5人	18人以上
	実 績	1人	3人	6人	2人	2人	14人
新規就農者等の確保・育成に向け、関係機関と連携を図り、支援を強化する。		推進				→	

② 魅力ある農林産物づくりと6次産業化の推進

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ ブランド認証累計数：122件以上（107件）	計 画	110件	113件	116件	119件	122件	122件以上
	実 績	127件	133件	136件	137件	137件	137件
■ 6次産業化の取組累計件数：45件以上（35件）	計 画	37件	39件	41件	43件	45件	45件以上
	実 績	36件	36件	36件	36件	36件	36件
付加価値を高め、農林産物のブランド力の強化を推進。また、農産物等の加工や販売等に取り組む第1次産業従事者の6次産業化を推進し、成長産業化に向けた支援を行う。		推進				→	

③ 経営の安定化と耕作放棄地等の解消

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ 有害鳥獣の捕獲・駆除数：850頭以上（766頭）	計 画	790頭	805頭	820頭	835頭	850頭	850頭以上
	実 績	718頭	762頭	957頭	821頭	729頭	729頭
■ 耕作放棄地面積（遊休農地面積）：35ha以下（52ha）	計 画	39ha	38ha	37ha	36ha	35ha	35ha以下
	実 績	187ha	37ha	5ha	5ha	14ha	14ha
経営の安定化に向けて、有害鳥獣の駆除・防除の推進、関係機関との連携による農地集約等の促進、農林業基盤整備を進める。 また、遊休農地、耕作放棄地の解消に向けた取組を進める。		推進				→	

（ウ）商工業等の振興強化

① 市ブランド認証品の販路拡大、ふるさと納税推進等による「稼ぐ力」の強化

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ ふるさと納税の寄附件数：8,000件以上（2,786件）	計 画	5,000件	5,750件	6,500件	7,250件	8,000件	8,000件以上
	実 績	6,125件	7,270件	5,298件	4,002件	3,255件	3,255件
市ブランド認証品の拡充、返礼品目拡充等によるふるさと納税推進の強化、市ブランド認証事業所の市外への販路拡大の支援を行い、市外から市内へのお金の流入増加（稼ぐ力の強化）を図る。		推進				→	

② 商工業の振興を図るための連携等強化

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ 企業情報データベース登録企業数：60社以上（1社）	計 画	10社	25社	40社	55社	60社	60社以上
	実 績	10社	20社	21社	21社	21社	21社
商工業振興に向けて、商工団体への支援を行うとともに市と連携した取組を推進する。また、企業間の情報交流や販路開拓、パートナー探し等に有効となるよう市内企業の情報データベースへの登録、利用を促進する等、市と商工団体、又は企業間の繋がり・連携強化を図る。		推進				→	

③ 商工業等の成長を支えるプロフェッショナル人材の育成と確保

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	5年間累計値
■ 地域おこし協力隊員着任者数【5年間累計】：3人（－）	計 画	0人	0人	1人	1人	1人	3人
	実 績	0人	0人	0人	0人	3人	3人
市外からプロフェッショナル人材を受け入れ、市内商工業等の振興を図るとともに、人材の育成を促進する。また、地域おこし協力隊の制度を活用し、必要な人材の逆指名を行う等、人材の確保に努める。		推進				→	

【基本目標2】 ひとの定住・環流・移住の新しい流れをつくる

【目標】社会増減（転入転出者の増減） 均衡（△195人）		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
	計 画	△190人	△150人	△100人	△50人	±0人	均 衡
	実 績	△224人	△104人	△235人	△120人	△100人	△ 100人

（ア）定住・環流・移住の促進

① 若者の定住・環流・移住の促進

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	5年間累計値
■ 「新婚世帯家賃補助」及び「来て観て住んで事業（吉野川市に住んでみんで事業含む）」を活用した転入世帯数【5年間累計】：325世帯以上（58世帯）	計 画	70世帯	75世帯	60世帯	60世帯	60世帯	325世帯以上
	実 績	52世帯	64世帯	49世帯	51世帯	62世帯	278世帯
若者の市外への転出抑制と、IUターンによるひとの環流・移住の新しい流れをつくるために、これから結婚し民間アパート等で新生活を始める方へは家賃補助、住宅取得をされる子育て世代の方へは住宅取得の補助を行う等、住環境の支援や情報提供を積極的に推進する。		推進				→	

② 多様なひとの環流・移住の促進

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ 移住者数：50人以上（一）	計 画	30人	35人	40人	45人	50人	50人以上
	実 績	30人	57人	39人	31人	60人	60人
地域おこし協力隊の積極活用による多様な人材の市内流入や45歳以上で見られる転入超過に対して、移住コーディネーターの配置による受入体制の強化やお試し移住が可能な交流施設の整備等を図る。また、国が推進している、退職した高齢者の地方移住「生涯活躍のまち（日本版CCR C）」の導入について、検討を進める。		推進				→	

③ 地元への愛着、誇り意識の向上

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ 高校生が市へ愛着（どちらかと言えば含む）を感じる割合（高校生アンケート調査より）：80.0%以上（69.9%）	計 画	-	-	-	-	80.0%	80%以上
	実 績	69.9%	-	-	-	65.8%	65.8%
市外へ出た若者等に再び吉野川市へ戻ってきたいと思ってもらえるよう、小・中学校における郷土学習の推進や吉野川市ファンを増やすため、ふるさと納税を推進し、地元への愛着度や誇り意識の向上を図る。		推進				→	

（イ）交流人口増加の推進

① 観光力の強化

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ 市観光協会の外部組織化：令和元年度達成（一）令和元年度に「市観光事業者連絡会議（仮称）の設置」へ変更	計 画	-	-	-	-	外部組織化（連絡会議設置）	外部組織化（連絡会議設置）
	実 績	-	-	-	-	-	-
市観光協会が担ってきた事業の推進や民間活力導入による観光力の強化を図る。また、インバウンド観光に対応した受入・情報発信環境整備にも取り組む。			推進			→	

② 各種イベント・大会の充実

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ 主要イベント等における参加・訪問者数 ： 151,000人以上（137,158人）	計 画	145,200人	146,700人	148,100人	149,500人	151,000人	151,000人以上
	実 績	155,892人	150,159人	139,810人	146,268人	109,675人	109,675人
本市には、多くの参加人数・観光客・来訪者を誇るイベント等があり、これらの充実を図り、交流人口の増加を目指す。 また、徳島ヴォルティスホームタウン事業におけるホームタウンデーにてイベントの実施や物産店の出店等を通じて本市魅力のPRを図るとともに、地域間交流を図る。		推進				→	

③ 都市山村交流の推進

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ 美郷地区での観光客数（主要5イベント） ： 68,000人以上（58,359人）	計 画	65,600人	66,200人	66,800人	67,400人	68,000人	68,000人以上
	実 績	68,076人	58,733人	57,577人	52,416人	49,022人	49,022人
本市の奥座敷といえる美郷地区において、豊かな自然やその恵みからもたらされる資源を活用し、都市住民による交流人口を増やし、活性化を推進する。		推進				→	

（ウ）効率的な情報戦略の推進

① 戦略的シティプロモーションの推進

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ 女性（20～39歳）の転入者数（4年間平均） ： 380人以上（365人）	計 画	-	380人	380人	380人	380人	380人以上
	実 績	-	298人	313人	306人	317人	317人
市の情報戦略を推進するため、吉野川市シティプロモーションプランを策定する。 策定プランに基づき、結婚・子育て世代、特に女性にターゲットを絞った重点的・実践的なシティセールスを実行し、認知度・イメージ向上により、市内外の人から「住みたいまち」として選ばれる吉野川市のブランド力の確立を図る。			推進			→	

② 情報発信体制、システムの構築

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ 防災・情報メール登録者数： 3,000人以上（-）	計 画	-	500人	1,000人	2,000人	3,000人	3,000人以上
	実 績	-	2,060人	1,811人	1,904人	2,039人	2,039人
情報発信強化のため、ホームページのみならず、防災・情報メール及びチャチャナビにより保健、福祉（子育て）行事等、必要な情報を必要の人に発信する。			推進			→	

【基本目標3】 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

【目標】年間出生数 270人以上（255人）		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
	計画	258人	261人	264人	267人	270人	270人以上
	実績	284人	252人	256人	237人	206人	206人

（ア）結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実

① 若い世代の結婚の希望をかなえる

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	5年間累計値
■ 助成対象の婚活イベント及びセミナーの参加者数【5年間累計】：700人以上（61人）	計画	340人	120人	120人	60人	60人	700人以上
	実績	369人	100人	43人	16人	17人	545人
若い世代が結婚の希望を実現できるよう、民間団体等が実施する婚活イベントへの支援を推進する。また、結婚等への不安解消に向けたセミナーを開催する。		推進				→	

② 安全で安心して子どもを産み育てることができる環境づくりの推進

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ 乳児家庭全戸訪問事業における訪問率：100%（96.6%）	計画	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	実績	95.4%	95.1%	97.7%	98.3%	98.1%	98.1%
妊娠・出産・子育ての各ライフステージに応じた各種相談や母子の健診等の実施、子育て関連の情報発信を強化し、安心できる環境づくりを推進する。		推進				→	

③ 経済的負担の軽減

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	5年間累計値
■ 「最終的に持つつもりの子どもの人数」を「3人」と回答する人の割合（市民アンケート調査より）：35.0%以上（25.5%）	計画	-	-	-	-	35.0%	35.0%
	実績	25.5%	-	-	-	29.6%	29.6%
子どもを産み、育てることにおいて大きな負担や障害となっている経済的負担の軽減を図るため各種助成事業等を推進する。		推進				→	

（イ）働きながら子育てできる環境づくりの推進

① 子育て支援拠点施設の整備・充実や切れ目ない支援体制の構築

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ 子育て支援センター及び児童館の利用者数：50,000人以上（46,773人）	計画	47,400人	48,100人	48,700人	49,300人	50,000人	50,000人以上
	実績	67,040人	65,338人	59,633人	48,041人	45,254人	45,254人
■ 認定こども園の箇所数：6か所（2か所）	計画	2か所	2か所	2か所	5か所	6か所	6か所
	実績	2か所	2か所	2か所	5か所	6か所	6か所
子育て支援の拠点施設として認定こども園の整備や、ファミリー・サポート・センター、放課後児童クラブ等の充実を図り、働きながら子育てできる環境づくりやワーク・ライフ・バランスを推進する。また、切れ目ない支援を推進するため、複合拠点の形成を目指す。		推進				→	

(ウ) 特色ある学校教育の推進

① 子どもの健やかな成長に資する教育環境の強化

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ ICTを活用した授業を毎日する教員の割合 ： 50.0%以上（33.1%）	計 画	33.0%	37.0%	41.0%	45.0%	50.0%	50%以上
	実 績	33.1%	33.5%	49.8%	47.5%	56.1%	56.1%
将来を担う子どもたちにとってよりよい教育環境を整えるため、学校再編を進める。また、ICTを活用したわかりやすい授業づくりや学校支援人材バンクによる特色ある教育活動の展開を進めるとともに、市独自のスクールカウンセラー配置により、不登校、いじめ問題等の未然防止、早期発見等に取り組む。		推進				→	

② 基礎学力向上の取組や英語教育の推進

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ 英語検定3級程度以上を達成した中学3年生の割合 ： 50.0%以上（－）	計 画	-	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	50%以上
	実 績	-	44.4%	55.6%	64.2%	44.0%	44.0%
児童・生徒の基礎学力向上に向けた取組を進めるとともに、さらなる国際化に対応した人材育成のため、外国語指導助手（ALT）の配置数の増加、英語検定の助成を行う等、英語力強化に向けた取組を推進する。			推進			→	

【基本目標4】時代に合った魅力ある新しいまちをつくる

【目標】中心市街地における交流拠点の形成		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
	計画	-	-	-	-	拠点形成	拠点形成
1 拠点形成（－）	実績	-	-	-	-	拠点形成	拠点形成
【目標】市に住み続ける（「たぶん」を含む）と答える人の割合（市民アンケート調査より）		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
	計画	-	-	-	-	60.0%	60%以上
60.0%以上（56.4%）	実績	56.4%	-	-	-	55.9%	55.9%

（ア）新しいまちづくりの推進

① 中心市街地等の活性化を強力に後押しする包括的政策パッケージの策定

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ 包括的政策パッケージの策定：平成28年度策定（－）	計画	-	策定	-	-	-	策定
	実績	-	策定	-	-	-	策定
鴨島駅前を含めた中心市街地等にひとの流れの好循環を生み出し、活性化を図るため、包括的政策パッケージを策定し、事業の推進を図る。		推進	→				

② 中山間地域等における多世代交流拠点の形成

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ 拠点の形成：1 拠点形成（－）	計画	-	-	-	-	拠点形成	拠点形成
	実績	-	-	-	-	-	-
人口減少の著しい中山間地域等において、学校再編後の空き校舎を活用し、地域の多世代が市外の人と交流することのできる多目的交流拠点を形成する。				推進		→	

③ エディブルフラワー・エコシステム・チャレンジ（EEC）の推進

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ エディブルフラワー事業所数：1 事業所（－）	計画	-	-	-	-	開設	1 事業所
	実績	-	-	-	-	-	-
地元住民や関係機関等と協議・連携し、多様なひとの活躍の場となるエディブルフラワー（食用花）事業所が開設できるよう取り組む。						推進	

（イ）人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化

① 市有施設等の有効な利活用の推進

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ 公共施設等総合管理計画の個別施設計画の策定率：50.0%以上（－）	計画	-	-	10.0%	30.0%	50.0%	50%以上
	実績	-	-	10.0%	30.0%	80.0%	80.0%
市有施設等の有効な利活用を推進するため、吉野川市公共施設等総合管理計画を策定するとともに、施設類型ごとの個別計画も策定する。			総合管理計画策定	推進		→	

② 空き家対策等の推進

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	5年間累計値
■ 空き家、空き店舗情報のデータベース化 ：平成28年度 100%（－）	計画	-	100.0%	-	-	-	100.0%
	実績	-	100.0%	-	-	-	100.0%
■ 老朽危険空き家の除却支援件数【5年間累計】 ：70件以上（11件）	計画	14件	14件	14件	14件	14件	70件以上
	実績	13件	25件	17件	21件	26件	102件
今後増加が見込まれる空き家について、全市的に実態調査を実施し、データベース化を図り、利活用可能な家屋と除却すべき家屋の仕分けを行う。利活用可能な家屋は、移住・定住のために、空き家バンクへの登録を促し、除却すべき家屋は取り壊しを促す。 また、中心市街地における空き店舗の実態調査も実施し、データベース化を図り、開業支援等に活用する。		推進				→	

(ウ) 安心・安全で暮らしやすいまちづくりの推進

① 災害に強いまちづくりの推進

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ 生活する上で不安なこととして、災害で被災するおそれがあると回答する人の割合（市民アンケート調査より） ：26.0%以下（31.6%）	計画	-	-	-	-	26.0%	26.0%以下
	実績	31.6%	-	-	-	31.8%	31.8%
■ 上下水道の耐震化率（幹線管路）上水道 ：53.0%以上（35.4%） ※計画・実績の下段括弧内（H29以降）は簡水統合後の数値	計画	38.2%	42.0%	45.5%	49.0%	53.0%	53.0%以上
	実績	37.1%	41.2%	42.5%	42.5%	44.6%	44.6%
■ 上下水道の耐震化率（幹線管路）下水道 ：84.0%以上（57.2%）	計画	62.6%	67.9%	73.3%	78.6%	84.0%	84.0%以上
	実績	71.7%	74.1%	76.6%	78.6%	78.6%	78.6%
市民が安全に暮らせるようライフラインの耐震化や災害情報発信の強化等、防災対策に取り組み、災害に強い安全なまちづくりを進める。		推進				→	

② 健康で快適に暮らせるまちづくりの推進

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ 早世（65歳未満）割合の減少（男性） ：13.0%以下（17.5%）	計画	17.0%	16.0%	15.0%	14.0%	13.0%	13.0%以下
	実績	16.6%	12.9%	8.1%	10.4%	10.0%	10.0%
■ 早世（65歳未満）割合の減少（女性） ：5.0%以下（8.0%）	計画	7.5%	7.0%	6.0%	5.5%	5.0%	5.0%以下
	実績	4.0%	4.8%	3.8%	5.2%	4.0%	4.0%
市民一人一人が安心して健康で快適に暮らせるよう、健康づくりの取組や福祉サービスの充実を推進する。		推進				→	

③ 環境に優しいまちづくりの推進

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ 家庭系ごみ搬入量：7,722 t 以下（8,180 t）	計画	7,830 t	7,775 t	7,722 t	7,722 t	7,722 t	7,722 t 以下
	実績	8,165 t	8,090 t	7,978 t	7,982 t	7,989 t	7,989 t
■ 汚水処理人口普及率：76.6%以上（67.2%）	計画	69.1%	70.9%	72.8%	74.7%	76.6%	76.6%以上
	実績	68.7%	69.9%	70.8%	71.3%	72.0%	72.0%
ごみの減量化や環境保全の取組を行い、環境に優しく快適に暮らせる魅力あるまちづくりを推進する。		推進				→	

(エ) “まち”をつくる“ひと”の育成

① まちづくりを行う人材の育成や組織の設立

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ まちづくり組織の設立数：1組織設立（－）	計画	-	組織設立	-	-	-	組織設立
	実績	-	未設立	-	-	-	-
まちを盛り上げていく地域リーダーの育成を進めるとともに、その活動組織の設立を目指す。特に、組織については、特定非営利活動法人や、現在、政府が創設を検討している「ローカルマネジメント法人（仮称）」の導入も視野に含める。		推進	→				

② 生涯学習を行う機会の充実、啓発や生活向上の推進

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	5年間累計値
■ 生涯学習講座受講人数【5年間累計】 ：2,500人以上（438人）	計画	450人	475人	500人	525人	550人	2,500人以上
	実績	450人	451人	495人	618人	583人	2,597人
生涯学習の推進や、公民館における各種講座等、多くの場所で学習できる機会の提供を行い、生活の向上を図る。		推進				→	

③ 女性が輝く社会の促進

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	5年間累計値
■ 女性キャリアアップ講座等の受講者数【5年間累計】 ：80人以上（－）	計画	-	20人	20人	20人	20人	80人以上
	実績	-	23人	21人	34人	36人	114人
主として子育て世代の意欲ある女性の活躍を後押しし、能力を発揮できるよう、関係機関等と連携しながら、キャリアアップ講座等の開設や意識啓発と政策決定機関への参画を促す。			推進			→	

④ 地域に密着した教育活動や公開講座等の促進

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ 大学サテライトオフィス数：1か所開設（－）	計画	-	-	-	-	開設	開設
	実績	-	-	-	-	-	-
市内へ大学サテライトオフィス誘致を推進し、地域に密着した教育活動や公開講座等の開設を促進する。			推進			→	

(オ) “麻植”による地域創生の展開

① 麻植ブランド形成の推進

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	最終年目標値
■ オリジナル特産品開発数：2以上（－）	計画	-	-	-	1	1	2以上
	実績	-	-	-	-	-	0件
麻植に関連した地域の魅力発信・発信、新たな稼ぐ力及びひとの流れの創出等をストーリー性を持った複合的事業として実施することにより、麻植のブランド化を図る。 また、地域・世代を紡ぐ取組を合わせて推進する。				推進	→		

② 地域資源等の利活用の推進

数値目標・取組内容		工程（年度別事業計画）					
		H27	H28	H29	H30	R1	5年間累計値
■ 地域連携フィールドワーク講座の参加者数【5年間延べ数】 ：300人以上（57人）	計画	60人	60人	60人	60人	60人	300人以上
	実績	53人	90人	98人	84人	43人	368人
文化、歴史、伝統産業、資源等についての学びの機会創出や地元大学等との連携・交流を強化し、地域の課題解決や活性化を図る。		推進				→	